

2017年5月期第3四半期 決算補足資料

株式会社レノバ



2017年4月7日

注意事項

本資料は、株式会社レノバ(以下「当社」といいます。)及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社はその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではなく、また、当社はその内容を更新する義務を負うものでもありません。

また、本資料に記載される当社グループの計画、見通し、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、現時点における当社の判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外のエネルギー政策、法令、制度、市場等の動向、当社グループの事業に必要な許認可の状況、土地や発電設備等の取得・開発の成否、天候、気候、自然環境等の変動等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なることがあります。

本資料の記載金額は、原則、連結数値を使用、百万円未満は切り捨てとしているため、各欄の合計値と合致しない場合があります。本資料における当期(四半期)純利益は、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を記載しています。なお、2016年5月期第3四半期決算数値は、監査法人のレビュー対象外です。

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社レノバ IR室

電話: 03-3516-6263

mail: ir@renovainc.jp

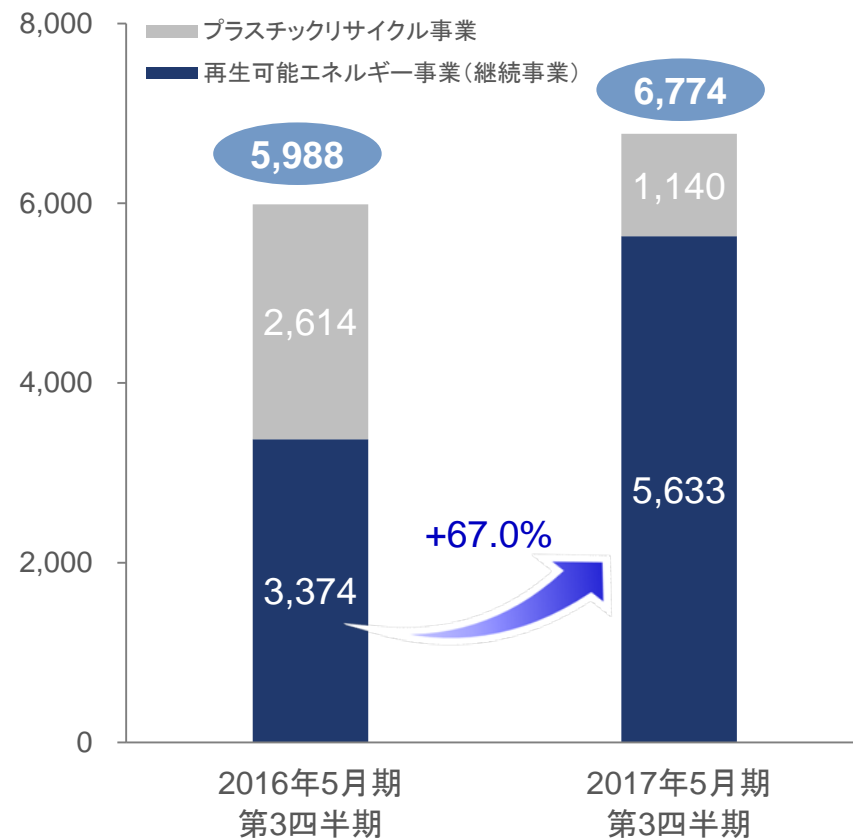
IRサイト: <http://www.renovainc.jp/ir>

連結売上高及び連結EBITDAの推移

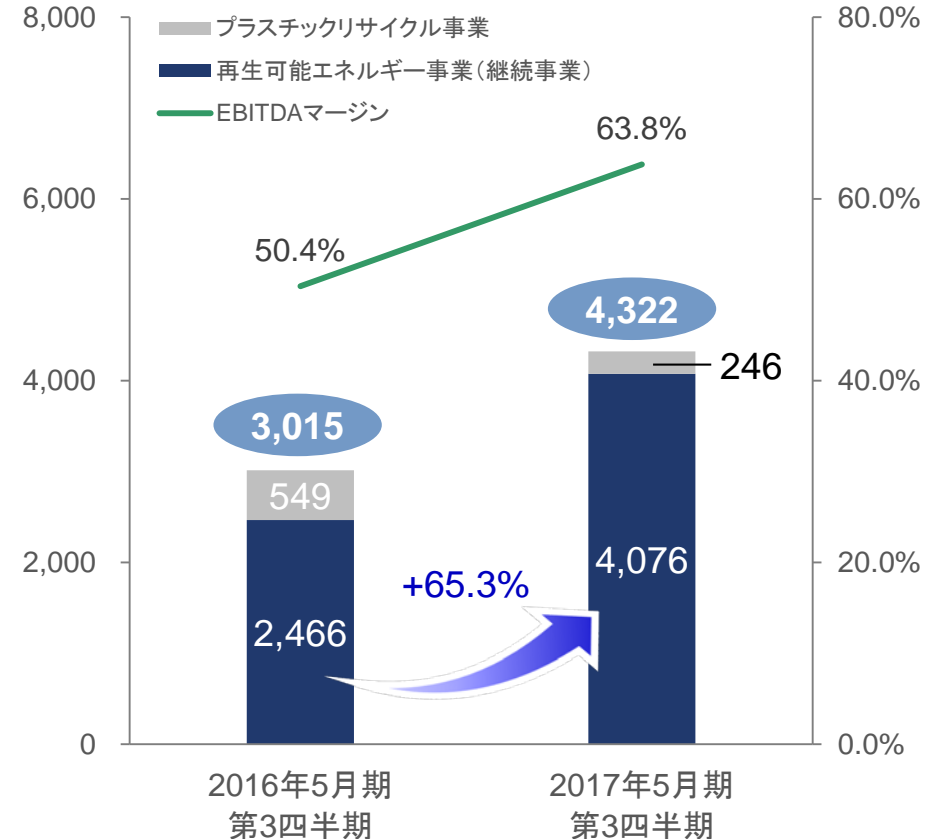
(単位: 百万円 / %)

■ 再生可能エネルギー事業^{*1*3}の売上高及びEBITDAは、着実に成長しています

連結売上高 前年同四半期比



連結EBITDA^{*2}前年同四半期比



*1 再生可能エネルギー事業 = 「再生可能エネルギー発電事業」セグメント + 「再生可能エネルギー開発・運営事業」セグメント + 「セグメント間連結消去」

*2 EBITDA = 経常利益 + 純支払利息 + 減価償却費 + 電力負担金償却 + のれん償却額 + 開業費償却。EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

*3 2016年5月期第3四半期の「再生可能エネルギー事業」には、「環境ソリューション事業」セグメントが含まれています

四半期連結決算ハイライト

(単位: 百万円)

■ 再生可能エネルギー事業に事業領域を特化したことで、EBITDAマージンは向上しています

	2016年5月期 第3四半期	2017年5月期 第3四半期	2017年5月期 (通期計画)	通期進捗率
売上高	5,988	6,774	8,169	82.9%
EBITDA*1	3,015	4,322	4,954	87.2%
EBITDA マージン	50.4%	63.8%	60.7%	-
営業利益	1,497	2,521	2,731	92.3%
経常利益	1,193	1,859	1,758	105.7%
特別利益	1,352	2,350	-	-
特別損失	1,442	752	-	-
当期(四半期)純利益	434	2,002	1,755	114.1%
EPS(円)	26.87	114.10	98.90	-
LTM ROE*2	23.2%	35.9%	-	-
運転中発電所数 (括弧は持分法適用の数)	6	8 (2)	8 (2)	-
発電容量(MW)*3	122.3	162.3	161.8	-

*1 EBITDA = 経常利益 + 純支払利息 + 減価償却費 + 電力負担金償却 + のれん償却額 + 開業費償却。EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

*2 LTM ROE における純利益は、直近12ヶ月間の数値を使用。自己資本は、直近12ヶ月初と直近月末の単純平均値を使用

*3 発電容量は当社持分比率を考慮しないグロス値で表示。一部太陽光発電所の増設設置パネルが2017年2月に稼動したことにより、発電出力が161.8MWから162.3MWに増加

連結EBITDAの構成

(単位: 百万円)

■ EBITDAの増加は、連結対象の発電所の増加(連結期間の増加含む)により増大しています

	2016年5月期 第3四半期	2017年5月期 第3四半期	増減	
経常利益	1,193	1,859	666	
減価償却費 (+)	1,089	1,433	344	← 主に太陽光発電所2社 ^{*1} の連結期間が通期で寄与したことによる増加
電力負担金償却 (+)	8	14	6	
のれん償却額 (+)	81	41	▲39	← プラスチックリサイクル事業の譲渡によるのれん減少
純支払利息 (+)	510	780	270	
受取利息	0	0	0	
支払利息+資産除去債務利息	510	781	270	
開業費償却 (+)	133	192	59	
EBITDA	3,015	4,322	1,306	

*1 那須塩原ソーラー匿名組合事業、株式会社富津ソーラー

再生可能エネルギー事業のセグメント別業績*1(継続事業)

(単位: 百万円)

■ 新たな発電所の運転開始・連結化により、再生可能エネルギー発電事業は着実に成長しています

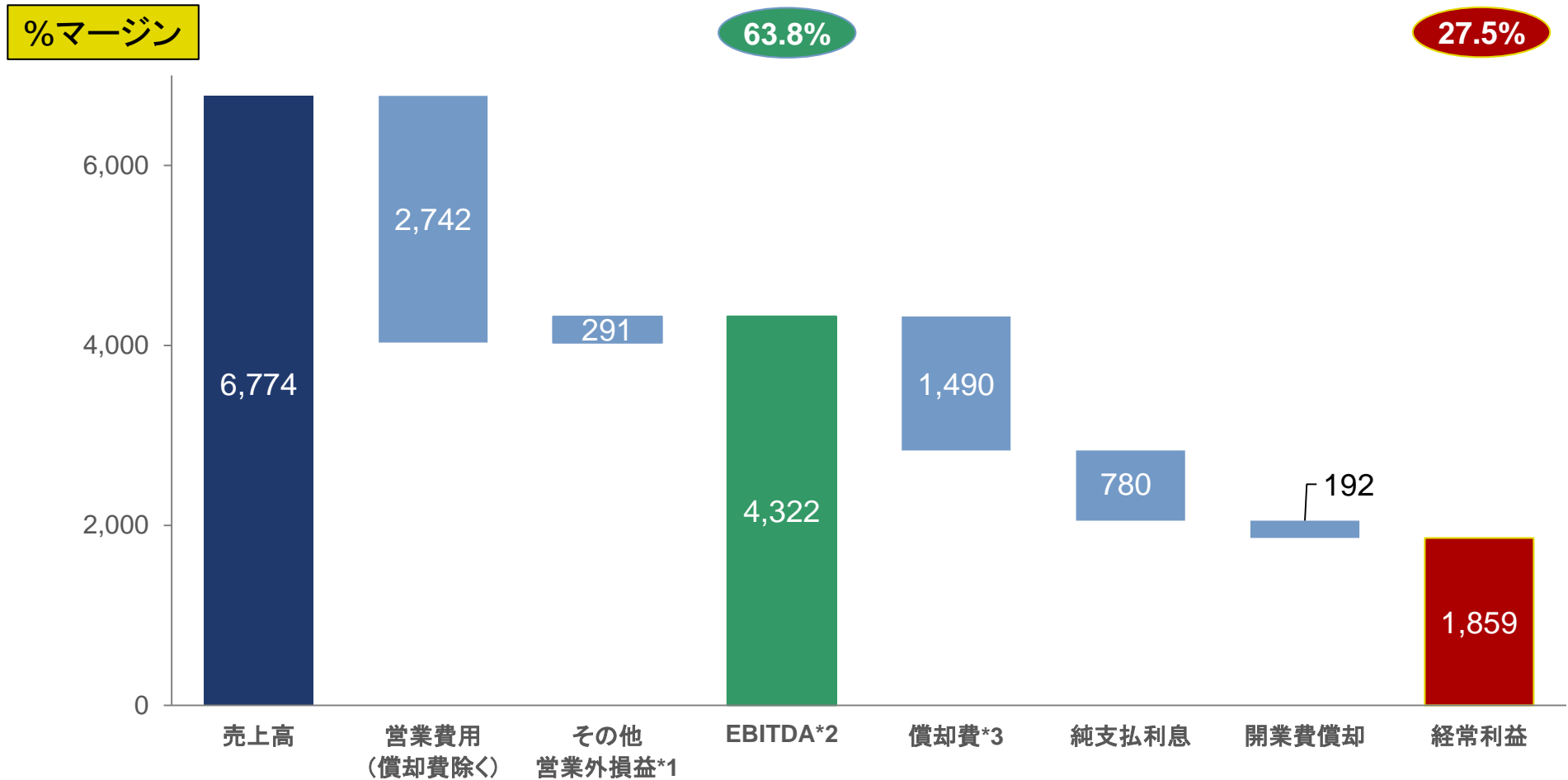
		2016年5月期 第3四半期	2017年5月期 第3四半期	2017年5月期 (通期計画)	通期進捗率
再生可能エネルギー 発電事業(A)	売上高	2,477	4,443	5,789	76.8%
	EBITDA	2,253	3,771	4,675	80.7%
	経常利益	903	1,503	1,687	89.1%
再生可能エネルギー 開発・運営事業 + 連結消去(B)*2	売上高	896	1,190	1,239	96.0%
	EBITDA	213	304	33	919.4%
	経常利益	160	275	▲9	NM
継続事業の 合計(A+B)	売上高	3,374	5,633	7,028	80.2%
	EBITDA	2,466	4,076	4,708	86.6%
	経常利益	1,064	1,779	1,678	106.0%

*1 プラスチックリサイクル事業を除く、継続事業ベース

*2 子会社や関連会社に対する当社の持分に相当する事業開発報酬等については、連結決算上は連結グループ内取引として連結消去

【ご参考】2017年5月期第3四半期 連結売上高及び段階利益の構造

(単位: 百万円)



*1 受取利息、支払利息及び開業費償却を除く営業外損益

*2 EBITDA = 経常利益 + 純支払利息 + 減価償却費 + 電力負担金償却 + のれん償却額 + 開業費償却。EBITDAは監査法人の監査又は四半期レビュー対象外

*3 償却費 = 減価償却費 + 電力負担償却費 + のれん償却費

連結貸借対照表

(単位: 百万円)

- プラスチックリサイクル事業の譲渡に伴い総資産は減少しています
- 純利益の計上や公募増資に伴い、株主資本が増加しました

	2016年5月期 期末	2017年5月期 第3四半期末	増減	主な増減要因
流動資産	14,516	14,240	▲275	
固定資産	36,108	32,510	▲3,598	
有形固定資産	32,617	28,931	▲3,686	プラスチックリサイクル事業の譲渡
無形固定資産	1,129	856	▲273	
投資その他の資産	2,361	2,723	361	
繰延資産	988	795	▲192	
資産合計	51,613	47,546	▲4,066	
有利子負債 ^{*1}	40,558	34,716	▲5,842	プラスチックリサイクル事業の譲渡及び借入金の弁済
その他負債	5,919	5,756	▲164	
負債合計	46,478	40,472	▲6,006	
株主資本	4,152	6,660	2,508	利益剰余金の増加、公募増資
その他の包括利益累計額	▲175	▲188	▲13	
非支配株主持分	1,157	602	▲555	匿名組合出資持分の買い増し
純資産合計	5,134	7,074	1,939	

*1 有利子負債 = 短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 1年内返済予定のノンリコース長期借入金 + 長期借入金 + ノンリコース長期借入金 + リース債務

連結資本構成

(単位: 百万円)

■ 純資産の増加や負債の減少に伴い、財務健全性指標は改善しています

		2016年5月期 期末	2017年5月期 第3四半期末	増減	増減要因
主要BS 項目	総資産	51,613	47,546	▲4,066	
	純資産	5,134	7,074	1,939	
	自己資本	3,977	6,472	2,494	利益剰余金の増加、 公募増資
	純有利子負債*1	30,090	24,646	▲5,444	
	現預金	10,468	10,070	▲398	
	有利子負債*1	40,558	34,716	▲5,842	プラスチックリサイクル 事業の譲渡、弁済
財務健全性 指標	自己資本比率	7.7%	13.6%	5.9%	
	純資産比率	9.9%	14.9%	5.0%	
	Net D / Eレシオ*1*2	5.9x	3.5x	▲2.4x	
	Net Debt / LTM EBITDA *2*3	7.4x	4.6x	▲2.8x	

*1 有利子負債 = 短期借入金 + 1年内返済予定の長期借入金 + 1年内返済予定のノンリコース長期借入金 + 長期借入金 + ノンリコース長期借入金 + リース債務

*2 Net D/Eレシオ = 純有利子負債 / 純資産 *3 LTM EBITDA は、2016年5月期末 4,078百万円、2017年5月期第3四半期末 5,384百万円

電源の開発状況

現在公表可能な開発案件*1

■ 太陽光発電に加え、バイオマス発電及び風力発電を当面の注力領域に取り組んでいます

電源の開発方針

現在公表可能な開発案件リスト

全国で
マルチ電源の
開発推進中

15-20件程度の
新規案件
パイプラインを開発

積極的なソーシング
により、
パイプライン
拡充を企図

電源	案件	所在地	発電容量 (MW)	買取価格*2 (1kWh当たり)	現況	運転開始年 (目標)
太陽光	軽米西	岩手県	48.0	36円	建設中	2019年
	軽米東	岩手県	80.8	36円	建設中	2019年
	案件A	三重県	約20	36円	推進中	2019年
バイオマス	案件A	中部	約75	未定	初期検討	2022年
風力	案件A	九州	約20	未定	初期検討	2022年
	案件B	東北	約560	未定	初期検討	2026年
地熱	案件A	九州	未定	未定	初期検討	2020年
	案件B	北海道	未定	未定	初期検討	2021年

- 上記記載の案件に加え、太陽光、バイオマスなど15-20件程度の初期検討案件を開発中
- 環境・エネルギー分野での調査・コンサルティング事業を通じて培った、行政や地域とのコンタクトポイントを活用

*1 パイプライン案件は開発状況や進捗に伴い、変更、遅延又は中止となる可能性があります

*2 買取価格は、売電先との実際の契約価格ではなく、各発電設備に対してFIT法に基づき適用されている固定買取価格(消費税抜表示)

【ご参考】稼働中の発電所

レノバの再生可能エネルギー発電所ポートフォリオ及び総発電量(イメージ)*1



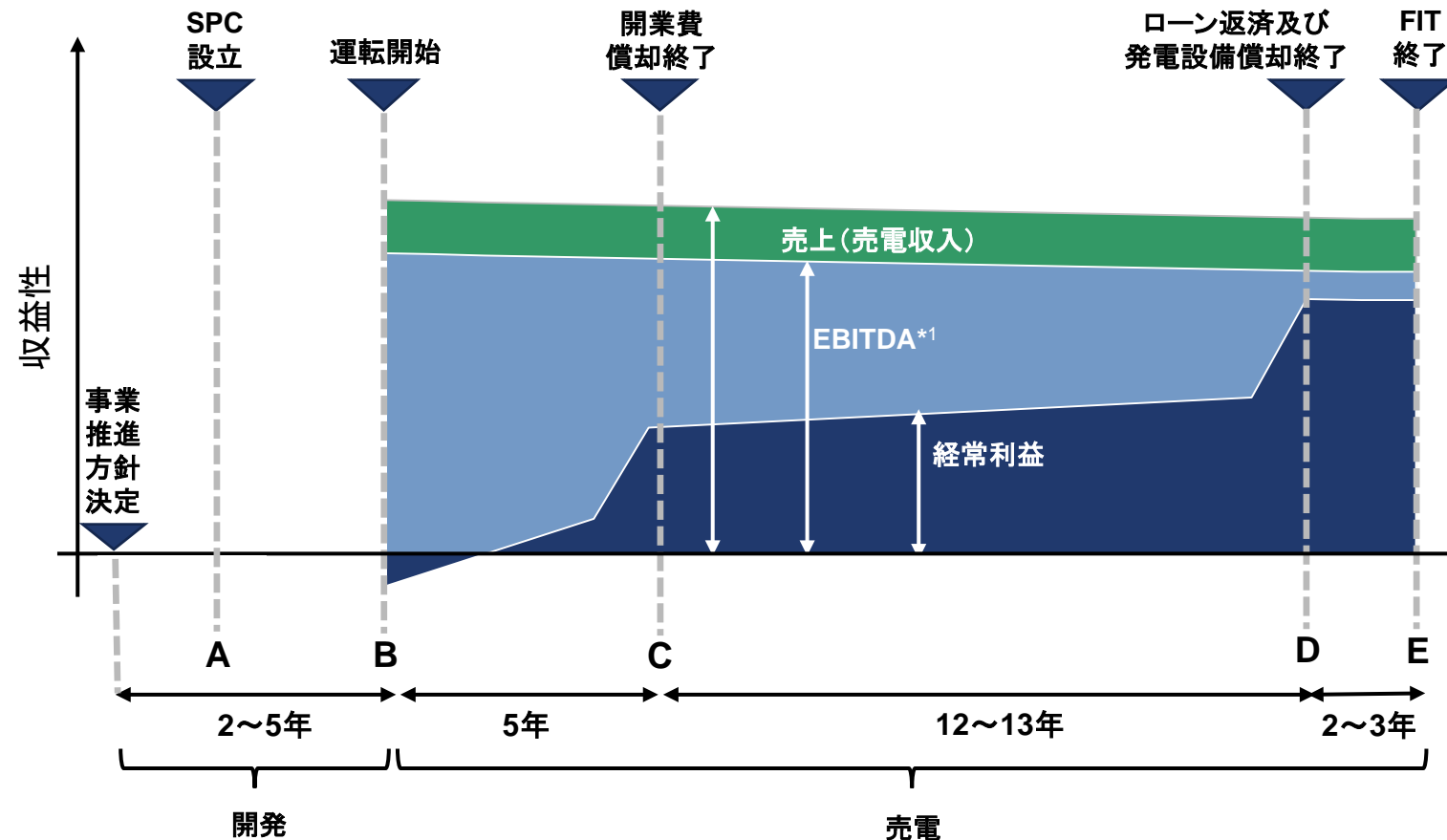
*1 各発電所につき発電所名、出資割合、出力、発電開始時期を記載。円の面積は各発電所の総発電量(kWh)イメージ。発電量及び設備容量は当社持分比率を考慮しないグロス値で表示

*2 水郷潮来は、増設設置パネルが2017年2月に稼働したことにより発電出力は、14.8MWから15.3MWに増加

*3 菊川は「菊川石山ソーラー」が9.4MW(持分63.0%)及び「菊川堀之内谷ソーラー」が7.5MW(持分61.0%)

【ご参考】再生可能エネルギー発電所の収益推移イメージ

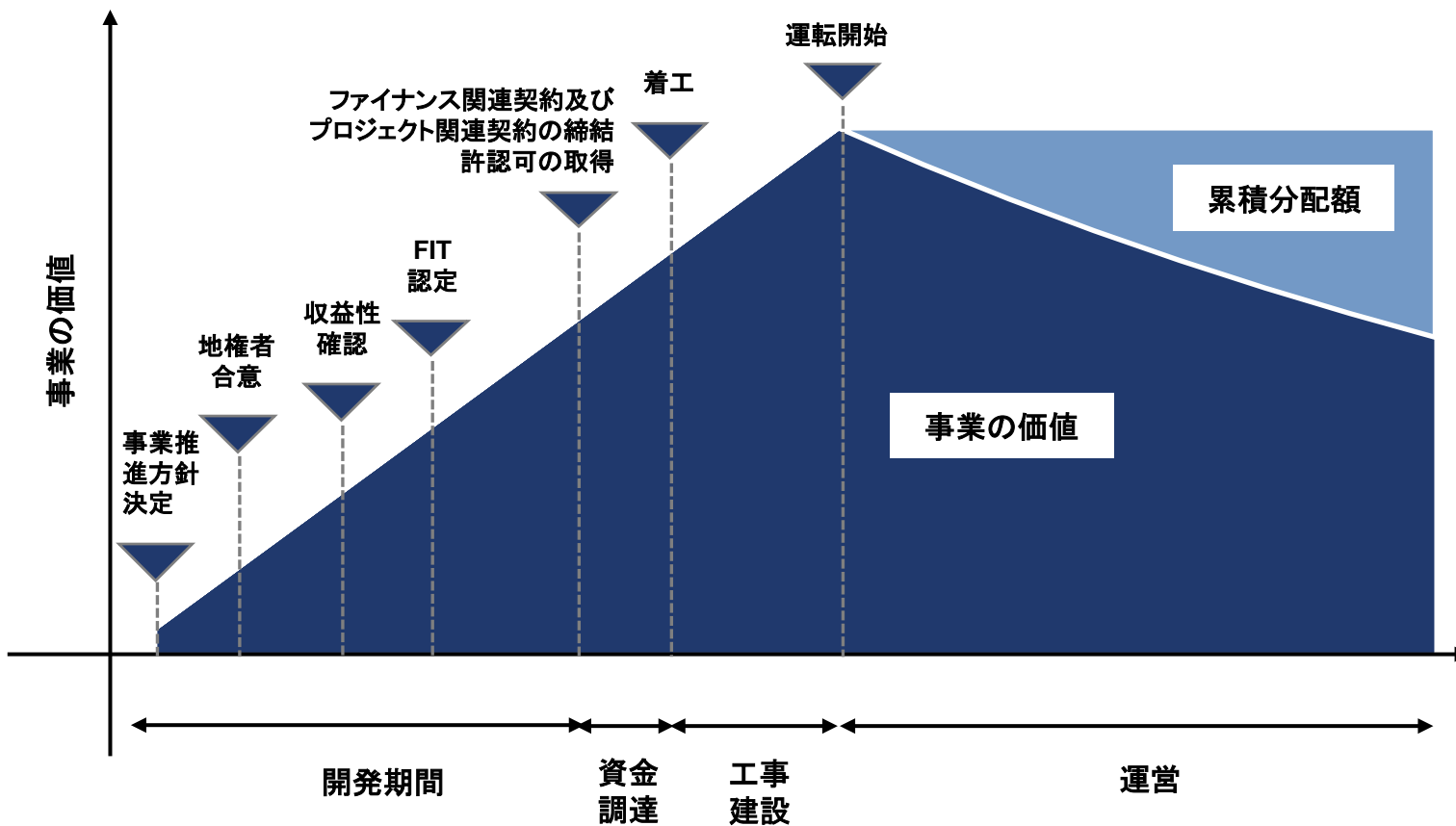
- 開業費償却、償却費用及び支払金利は経常利益を圧迫する一方、EBITDA*1はFIT適用期間を通じて安定的に推移していきます
- 当社は継続的な事業の成長を計る指標として、EBITDA及びEBITDAマージンを重視しています



*1 EBITDA = 経常利益 + 純支払利息 + 減価償却費 + 電力負担金償却 + のれん償却額 + 開業費償却

【ご参考】再生可能エネルギー発電所の事業価値向上イメージ

- 各開発マイルストーンの達成に伴い、発電所の事業価値は向上します
- 運転開始後は、配当金(分配金)によりその価値が顕在化していきます



【ご参考】会社概要

2017年4月1日現在

会社情報

社名	株式会社レノバ
本店所在地	東京都千代田区大手町一丁目7番2号
代表	代表取締役社長CEO 木南 陽介
設立	2000年5月
資本金	1,953百万円
証券取引所	東京証券取引所マザーズ
証券コード	9519
事業内容	再生可能エネルギー事業
従業員数 (連結)	73名

コーポレート・ガバナンス

取締役会	取締役6名のうち社外取締役2名
監査役会	監査役4名のうち社外監査役2名

株式の状況

発行可能 株式総数	70,200,000株
発行済 株式総数	18,383,100株

主な沿革

2000年5月	環境・エネルギー分野での調査・コンサルティング事業を目的とする株式会社リサイクルワン(現当社)を設立
2006年5月	プラスチックリサイクル事業に参入
2012年10月	再生可能エネルギー事業に参入
2013年12月	商号を株式会社レノバに変更
2014年2月	株式会社水郷潮来ソーラーにて発電を開始
2014年7月	株式会社富津ソーラーにて発電を開始
2015年2月	株式会社菊川石山ソーラー、株式会社菊川堀之内谷ソーラーにて発電を開始
2015年5月	九重ソーラー匿名組合事業にて発電を開始
2015年9月	那須塩原ソーラー匿名事業組合にて発電を開始
2016年4月	大津ソーラー匿名事業組合にて発電を開始
2016年5月	バイオマス発電事業に参入 (ユナイテッドリニューアブルエナジー株式会社にて発電を開始)
2016年8月	プラスチックリサイクル事業を譲渡
2017年2月	株式上場

【ご参考】レノバの理念

ミッション / 経営理念

グリーンかつ自立可能なエネルギー・システムを構築し
重要な社会的課題を解決する

ビジョン / 目指すべき企業の姿

日本とアジアにおけるエネルギー変革のリーディング・カンパニーとなること

経営原則 / レノバのコミットメント

- | | |
|----|----------------------------------|
| 地球 | 人類と地球の、永遠の共生に貢献します |
| 地域 | 歴史と文化を尊重し、新たな価値を共に創ります |
| 顧客 | 経済的で環境にやさしいエネルギーを供給します |
| 株主 | 株式価値を持続的に創出します |
| 社員 | 有能な人材を集結し、エキサイティングな自己実現の機会を提供します |